

大杉だより

Mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp
URL : https://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/hira-j
☎ 924-7700

NO 2 5月号その②

気温が高くなってきました。1年生も中学校に慣れ、校内は元気な声があふれています。ただ、暑くなってきたことと緊張がほぐれてきたことで、一部で「ダレ」も見受けられます。この時期にもう一度、「**よい良い自分**」「**よい良い学校生活**」を築くための目標を思い返して、頑張りたいと思います。

春季県大会の成果

～5月18日(土) 19日(日)～
※ただし水泳は6月1日2日です。

男子バドミントン団体：**第3位** 女子バドミントン団体：初戦敗
男子ソフトテニス団体：初戦敗 女子ソフトテニス団体：2回戦敗
男子バレー：初戦敗 陸上 大森心花(女子800M第5位)
バドミントンやソフトテニス・テニスの個人戦は入賞せず。



結果はそれぞれですが、平川中学校代表として、また山口市代表として、**一生懸命に戦いました。頑張りました。**

さて、これからは、夏の選手権に向けた練習に熱が入ってきます。暑くなりますので、練習前に水分を摂るなどの**熱中症対策**を必ず行ってください。

また1年生にとっては、夏以降の新チームに向けて本格的な練習が始まります。ただ、6月から夏休みにかけて、**体力的には一番辛い時期**となります。ここを乗り越れば秋以降、グッと楽になります。これからが、頑張り時です。

キャリア教育プログラム

～生きる力と知恵、そして心を育むキャリア教育～

1年生・地域学習(6月4日) **山大附養護生徒との交流会**(6月12日)

2年生・職場体験学習(6月20日～21日)

3年生・修学旅行(5月22日～24日) 於：関西方面(次号掲載)

進路説明会(6月28日)

全学年・教育実習(5月27日～) **中間テスト**(5月31日)

キャリア教育というと、「職場体験」といった、進路に関する指導や学習のことだと思いがちですが、それだけではありません。人との出会い、ふるさとの再確認、将来の自分を支えるスキルの獲得など、**広い意味での生き方学習・感動体験**だと考えてもらった方が、より正しいと思います。

教育実習は未知の人との出会いであり、中間テスト勉強はこれからの



長い学習生活の基盤になるものです。それをおろそかにすることは、すぐくもったいないことなのです。**人生はスリルと感動に満ちています。キャリア教育を楽しんでください。**

読書のススメ ～春の読書週間終了しました～

私自身(校長)国語の教師であり、本を読むことが仕事の一部でもありますし、図書館や本屋へ行くことが無上の喜びの一つですから、とにかく好きです。ただ、読んだ本がすべて良かったかという、むしろ良かったという本の方が少ないと思います。でも読まない、良い本にも出会えませんか。

私個人の読書体験で言うと、中1の時に『私の空手道人生』(大山倍達 著)を読んで強烈に「強さとは」「男らしさとは」なんていうことを考えました。またそれで吉川英治の『宮本武蔵』を読みました。「男児三日会わざれば刮(かつ)目して見るべし」(人は努力によってはわずか三日でも以前より全く変わることがあるので、油断してはならない。逆を言えば、それくらい成長しないようではイカン!)といった言葉を初めて知ったのはこの本でした。



やがて極真会館に入門し、師範とともに上京。池袋の本部で御本人とお会いした時は、長年のヒーローに会って舞い上がりました。(もっとも、その頃にはでっかいジイちゃんという感じでした。それから2、3年後にはお亡くなりになりました。)また、高校の頃の教科書で読んだ『平家物語』『史記』に感動したことが、古典を学びたいというきっかけになったと覚えています。大学も京都の地を選びました。(勉強はあまりしませんでしたけどね)

本は次の本や知識への窓口ですし、ぶれない**パートナー**でもありますし、テレビとは違って大いに**想像力をかき立てますし、表現力や語彙を育てますし、落ち着いた情操を育みます**。学業にも好影響をもたらすことは間違いありません。私のように、人生の一部を決めてしまうような「先生」ともなり得るかもしれません。

一日に何時間も読む必要はないと思います。ただし、**読書を習慣化するには、家庭においても楽しんで読めるように保護者の皆様の理解と協力が必要です。**

志や才を育むためにも、是非とも読書をオススメします。

定期教育相談について

6月10日～6月18日 全6回

学校では、集団として生徒を鍛え伸ばす方向(部活動や授業や集団行動もそうですが)の**「集団指導」**と、一人ひとりの発達段階や生育環境や夢や悩みに寄り添う方向の**「個別支援」**の両方で生徒に向き合っています。「教育相談」とは、もちろん後者です。

「教育相談」と言うと、堅苦しさを感じたり、相談することなんて何もないと思ったりしがちですが、そうではありません。

少し心を解放して、先生と、世間話でもいいし、昨日見たテレビの話題でもいいのです。



共に時間を過ごして、それまでよりほんの少し互いの距離が縮めば、それが次につながりますし、「教育相談」としては大成功なのです。

さあ、悩みや困り感がある人はもちろん、そうでない生徒も、**気軽に「教育相談」!!**

ー 保護者・地域の方へのお知らせとお願い ー

6月24日(月)

幼小中合同引き渡し訓練

(中学校は14:40～16:00)

6月27日(木)

本物に触れあう会： 演劇「動けば雷電の如く」

(5, 6校持) 2時間20分の予定。

令和の時代になりましたが、平成に起きた数々の災害を忘れることはできません。中でも特に強く思い起こされるのは、やはり「東日本大震災」です。

「釜石の奇跡」と後に呼ばれた、中学生が二次避難場所から更に自分の判断で高地に逃げ、しかもそのときに「自分たちは助けることができる命を助ける義務を負う」という精神で、幼児や小学生の手を引き車椅子を押したからこそ、すんでのところ、**99, 8%**の子どもの命が助かりました。これは事前の訓練や指導がなされていたからだということです。(では0. 2%の子はどうだったのか。それは、直接生徒に話をします。)

南海トラフによる地震は今後30年の間に、まず間違いなく起こります。私たちが住まう山口市は、確かに津波などの被害は大きくはないと考えられます。ただ、その山口市でさえ、近年の豪雨災害では確実に被害は出ています。

幼・小・中で同時に引き渡し訓練を実施すると、車は渋滞しますし、無駄な時間もかかります。しかし、実際に豪雨による被害が出るとなると、やはり幼も小も中も(高や大までも)同時に動きます。また実際には、危機に陥るのは子どもだけではなく、地域住民すべてのはずです。

どれだけ真剣に訓練しておくかで、より多くの命を救う可能性が上がります。

お手数をおかけしますし、道路が混みあうなどご迷惑もおかけしますが、どうぞご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。詳細については、後日、別紙を配布いたします。

「本物に触れあう会」では今年度は、劇団はぐるま座による『動けば雷電の如く』(これまでも県内各地で公演され、評判を得た演劇です。主人公は言わずと知れた高杉晋作です。本校体育館で本格的な演劇に触れることができる絶好の機会ですので、ぜひ一緒に鑑賞いただき、**鑑賞後の語り合い**をしていただけたらと思います。



シリーズ：先生方へのインタビュー

～ あの頃あなたも中学生だった・・・ ～

現在の2年部の先生方→

- ① 中学時代の部活動
- ② どんな中学生でしたか
- ③ 好きな言葉



山田直美先生(学年主任)

- ① 吹奏楽部 ② 自分を理数系と信じて疑わない中学生でした。
- ③ 早く、速く丁寧に

藤田真也先生(2-1担任)

- ① バスケットボール部 ② 見た目は現在と同じ!? スポンジみたいな性格でした。
- ③ 死ぬこと以外かすり傷

末村和也先生(2-2担任)

- ① 野球部 ② 同じ野球部の友達と芸人を目指していました。
- ③ 「進化無限」「無知の知」

梶山大地先生(2-3担任)

- ① 野球部 ② 勉強嫌いな野球小僧 ③ 「元気・笑顔」

上利知孝先生(2-4担任)

- ① 野球部 ② 運動が好きな生徒でした。
- ③ 球道即人道

山本啓子先生(2-7担任)

- ① 卓球部 ② 編み物や手芸など、もの作りが大好きでした。休み時間は読書が多かったかもしれません。
- ③ やらずに公開するより、やって後悔。

田中宏枝先生(副担任)

- ① バレーボール部
- ② 担任の先生に毎日のようにいたづらをして楽しんでいました。
- ③ 雨のち晴れ

キャリア特集！！テスト週間を乗り切ろう！！ 先生方 に聞きました「テスト週間／私はこう勉強した！」



- ◇ 私は自分がなまけ者であることを自覚していたので、その日何と何を学習するかを書き出して、それをすませるまでは寝ないぞと頑張りました。（結局は寝てしまうんですが・・・）当時のことですから、深夜ラジオとコーヒーが勉学の友でしたし、学校へ目を赤くしたりまぶたを腫らして行くことこそ、テスト週間らしくていいと信じていました。「今日できなかったことが、明日にできる保証なんてない（のむちゃん）」。
- ◇ 土日は、1日12～14時間くらい勉強していました。自分が立てた計画よりも多くやって、達成感を得ていました。
- ◇ 図書館に行って、朝9時くらいから17時くらいまで勉強していました。過去問をたくさん解いていました。
- ◇ ①分からないことは、直接先生に聞きに行くこと。②問題を解いて、知らなかった用語や間違えた問題について、教科書のその部分にマークする。
③歴史番組を見る（社会です。）
- ◇ 自分は何度もワークの問題を解きました。そして最後に、ワークに直接書き込んでほんとに理解したかを確認していました。
- ◇ 夜はすぐ寝て、朝早く起きてやっていました。受験生の生活リズムとしてもそれに慣らしていくのが良いことではないかと思えます。
- ◇ 日頃から、その日の授業ノートを「自学ノート」にもう一度書くようにすることで復習にしています。
- ◇ 大好きだったテレビから離れるため、中2の4月から、帰宅後にすぐ寝て12時ごろに起き、朝の6時まで勉強するという生活パターンを2年間続けました。私にはすごく効果がありましたが、誰にでもというわけではないかも。

- ◇ 苦手な教科から先に勉強するように意識すると、少しずつ全体の成績がアップします。本当です。
「がんばれ菓子」「がんばれドリンク」（好きなもの）をストックし、テンションが下がってきたら、食べて飲んで、やる気チャージ！
- ◇ 勉強机まわりの、勉強以外のものをすべて片付け、ついでに部屋もきれいにして、集中できる場所を作るのがいいですよ。
- ◇ ただひたすら書いて覚えることを実践しました。ボールペンのインクをどれだけ早く使い切るかに燃えていました。インクが無くなったときの達成感・充実感はたまりませんでした。
- ◇ 毎日5教科を、時間を決めて行います。その中でも、「本日の教科」として1教科は重点的に学習しました。
- ◇ 特に暗記が多い教科については、自分が覚えにくいと思うワードをノートに書き、いつもそのノートを手にして、少しの時間でもそれを見て覚えました。
- ◇ 登校中、友達とよくテストの予想問題を出し合いながら歩きました。結構な確率で当たっていたように思います。
- ◇ 私は新聞広告でウラが白いものを適当な大きさに切り、メモ用紙として使ったり、たまってきたら分野や項目ごとに分類してまた勉強しました。
- ◇ 勉強に使えるエネルギーそのものの量を増やすために、夢や目標を持つことだ。例えば、将来通訳になって海外で暮らすのだという夢があれば、英単語を覚える気力がわいてくる。もうひとつは、家庭において長時間、机につくクセをつけることだ。中1の時に、少々ダラダラであろうが、集中力に欠けようが、いろいろな勉強方法を試しながら、時間をかけることだ。それによって、中3にもなれば集中してより短時間に、しかも自分のスタイルで、勉強できるようになる。
「勉強の方法が分からない」と言う人とは、結局、勉強していない人でしかない。この世の中の仕組みは、より勉強をした者に有利であると思う。

特に1年生にとっては、中学生になって初めての定期テストですね。高得点を得やすい回ですし、今後につなげるためにも、前向きに取り組んでほしいですね。

